

## 会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開および委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	平成24年度 高松市国民健康保険運営協議会
開催日時	平成25年2月14日(木) 14時00分～15時20分
開催場所	高松市役所 4階会議室
議 題	(1)平成24年度高松市国民健康保険事業特別会計決算見込みについて (2)平成25年度高松市国民健康保険事業特別会計予算見通しについて (3)諮問事項 平成25年度高松市国民健康保険事業運営の基本方針(案)について
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	公益代表委員(山下隆資, 古市修平, 八十川芳子) 保険医・保険薬剤師代表委員(曾我部輝久, 伊藤輝一, 穴吹昇三, 稲本匡章) 被保険者代表(小野美津子, 原田和幸, 藤村利江子)
傍 聴 者	0 人 (定員 5 人)
担当課および連絡先	国保・高齢者医療課管理係 839-2311

協議経過および協議結果
<p>(1) 平成24年度高松市国民健康保険事業特別会計決算見込みについて(報告) 平成24年度高松市国民健康保険事業特別会計決算見込みについて、事務局から報告</p> <p>(2) 平成25年度高松市国民健康保険事業特別会計予算見通しについて 平成25年度高松市国民健康保険事業特別会計予算見通しについて、事務局から内容について説明。</p> <p>(3) 諮問事項 平成25年度高松市国民健康保険事業運営の基本方針(案)について 平成25年度高松市国民健康保険事業運営の基本方針(案)について、事務局から内容について説明。 諮問事項については、原案どおり承認が決定され、高松市国民健康保険運営協議会規則第5条第2項の規定により、市長に答申するものであるが、答申文の調整は会長、また答申については、会長および会長職務代行に一任されることに決定。</p> <p>(4) その他 出席委員が14名中10名で半数以上に達しているので、高松市国民健康保険運営協議会規則第4条の規定により、会議が成立していることを報告。</p> <p><b>【協議】</b> 議題(1)平成24年度高松市国民健康保険事業特別会計決算見込について 《質問なし》 議題(2)平成25年度高松市国民健康保険事業特別会計予算見通しについて 《質問なし》 議題(3)諮問事項 平成25年度高松市国民健康保険事業運営の基本方針(案)について (小野委員) ジェネリックの希望カードを配布するとなっておりますけれども、先生から直接ではなく、調剤薬局からジェネリックを勧められますが、医師の方からジェネリックを使っても同じような効果があるということをお願いいただいたらジェネリックに変えられると思います。調剤薬局から言われたら、</p>

先生が何も言わないのに変えてもいいのかと思うので、ぜひ医師の方から変えても差し障りないということをお願いできれば、たいていの人はジェネリックに変えていくと思います。

もう一点ですが、70歳になると1割負担になります。本来なら2割ですが、後の1割はどこから補填されているのでしょうか。70歳～75歳までは1割負担ということになってはいますが、私の周りでは保険料の見直しがこれほど言われているのであれば、2割負担でもいいのではないかと思います。意見があります。1割負担になったら、むやみに病院に行く人も増えていると思います。現実問題、保険料の補填をたくさんしているのだから、そういうこともお考えになっているのでしょうか。

(山下会長)

二点ありましたので、まずはジェネリックの方からお願いします。

(片山課長)

保険者といたしましては、あくまで本人に勧奨をするまでしかできませんので、医師の方で十分に説明してくださいということ、保険者の立場から言うことは難しいです。医療費の差額通知もおこなっておりますし、ジェネリック希望カードを配って利用の促進をしていただくということで医療機関等にポスター等も掲載しておりますが、そこまでしかできません。

(伊藤委員)

医薬品によってはジェネリックに変えないで下さいというのは、私どもの方から言っていますが、それ以外のものについては患者さんに選択していただいています。積極的にわれわれが後発品に変えなさいということは今の所医師会としてはしていません。

後発品は、同じ薬がいろんな会社からたくさん出ておまして、私どもがそれを全部責任を持てるかという持てないんです。現に後発医薬品に変えて、味が違う、飲んだときの感じが違うなどの理由で、元に戻して欲しいという患者さんも結構いらっしゃいます。医師の方から言って欲しいというのは難しいです。

(山下会長)

ジェネリック医薬品の普及率は、香川県は非常に悪いですね。

(伊藤委員)

患者さんも選ぶときに、先発品にしてくださいという人もたくさんいます。

(山下会長)

呉市がジェネリック医薬品の普及について取り組み、使用率が高まったと聞いています。

(片山課長)

本市におきましても24年度から差額通知、つまり、実際に使われた医薬品をジェネリックに変えるとこれくらい安くなりますという通知を始めております。ただ、それについての検証はこれからになります。その結果により、25年度以降、通知の対象者をどうするか、対象の範囲をどうするかといったことを検討していきたいと考えております。呉市はそういったことを先行して、20年度からレセプトを独自に電子化して分析を始めたということで先駆的で非常に参考になりますし、視察にも行き、話に聞いております。

(山下会長)

国民医療費の中で、医薬品の占める割合は約20%ぐらいですので、結構大きいですね。

(八十川委員)

糖尿病対策についてですが、カロリー制限は自分でやるのは非常に難しいので、いろんな方法を組み合わせて糖質を制限するかたちでやった方がいいということが本に書かれていました。これを保健師さんに、これからの糖尿病対策として指導をお願いしたいと思いますのでよろしくお願いします。

(山下会長)

先ほどのもう一点で、1割負担の件についてはどうですか。

(片山課長)

70歳以上の高齢受給者証の方は、今現在、法律で2割のところ1割になっております。高齢者医療制度の見直しで、法律どおり2割に戻すというところで国の方で検討されておりましたが、政権交代などにより、引き続き検討されております。25年度につきましても引き続き1割ということで決まっております。財源につきましても国からあてられています。

(八十川委員)

医療費適正化プロジェクトの話について教えてください。

(片山課長)

25年度から高松市の行財政改革計画が新しくなっておりまして、その中の取り組みのひとつとして、医療費の適正化についてプロジェクトチームを立ち上げてやっていこうということにな

っております。

介護給付費と医療費を合わせて適正化を図っていこうということで、関係課としては主に、国保の関係で国保・高齢者医療課、介護給付費の関係で介護保険課、保健指導の関係で保健センター、介護の関係で地域包括支援センター、高齢者の関係で長寿福祉課の5課を中心としてプロジェクトチームを立ち上げます。

具体的には、25年度以降の目標効果額を定めた適正化計画を策定していこうと考えております。適正化計画については、予定ではありますが、ある程度まとまった時点で、委員さんにも報告し、ご意見を伺おうと思っております。

(山下会長)

議題(3)「諮問事項」については原案どおり承認したいと思いますが、異議はありませんか。

《委員一同、異議なしと承認》

(山下会長)

議題(3)「諮問事項 平成25年度高松市国民健康保険事業運営の基本方針(案)」については、原案どおり承認することに決定いたしました。承認いただいた諮問事項については、高松市国民健康保険運営協議会規則第5条第2項の規定により、市長に答申することになっていますが、答申文については発言内容も踏まえ、私のほうで調整してよろしいでしょうか。

《委員一同、異議なし》

市長への答申は、私と古市会長職務代行に一任いただけますか。

《委員一同、異議なし》

(山下会長)

その他何かありますか。

(片山課長)

《第2期高松市特定健康診査等実施計画の説明》

(小野委員)

特定健診の受診率があまりよくないですね。保健センターからもっと周知・啓発活動を行ってほしいです。今私はコミュニティ協議会にも所属しておりますが、保健委員会を通じては回覧が回ってきています。しかし回覧ですので、皆さんあまり内容まで見ていませんので、口頭、口コミで言ってほしいです。手間と時間はかかるとは思いますが、きめ細やかに市民に対して広報活動をしてほしいと思います。

(山下会長)

各地域のコミュニティ協議会と保健委員会はこういった関係ですか。まったく別のものですか。自治会と関係あるのでしょうか。

(小野委員)

自治会と関係あります。コミュニティはその地区に住んでいる方全員ですが、自治会は希望者が入っており、その中から保健委員を選出しています。

(山下会長)

高松市の広報がありますよね。月二回ですか。あれにも書いていますよね。

(小野委員)

広報には書いてはありますが、見る人は見ますが、見ない人はまったく見ません。

(森田センター長)

行政としては色々手を尽くしているつもりではありますが、確かに口コミや誰かから勧められるというのが一番の後押しになり、受診率アップの鍵になると思っておりますので、地域に入って行って周知活動する中で、医療費の現状の話と合わせて、健診を受けるように指導したり、日々の運動などによる健康づくりなどの啓発活動をしていこうと考えております。

もうひとつ、地域のコミュニティ協議会を対象にして、新たな健康づくりの事業を実施していこうということを考えております。例えばグループでラジオ体操する中で健診を受けるよう声かけをするなど、いろんな人が参加していただけるような仕掛けを検討中です。

協議の結果、議題(1)(2)(3)については、いずれも承認され、議題(3)諮問事項については、後日、同協議会から市長に対し答申される予定。